

森林環境・スキー教室を実施しました



1月29日、30日の2日間にわたり、浪江小学校（二本松市）の児童たちはあだたら高原スキー場で「森林環境・スキー教室」を実施しました。

1日目は猛吹雪、2日目は絶好のスキー日和の中、子どもたちは元気に活動できました。

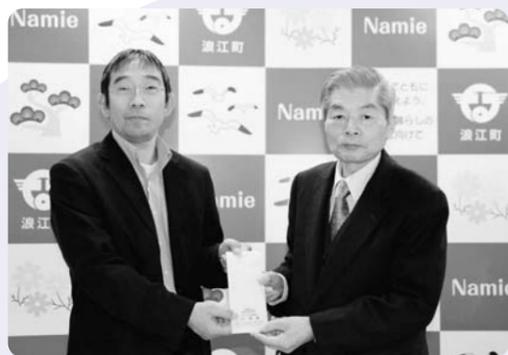
また、宿泊場所でも縦割りの班の良さを生かし、上級生は下級生の面倒をよく見ていました。

う お食つなげ隊からホッキご飯

1月30日、役場本庁舎と復興再生事務所の職員へ、ホッキご飯のほかシラスのかき揚げ・シラスとほうれん草のおひたし・漬物とボリューム満点のお弁当をご提供いただきました！

提供主は、漁師をされている奥さまたち76名で構成された「うお食つなげ隊」（相馬双葉漁業協同組合女性部・請戸支部）の皆さんです。昨年より活動を再開し、これまで各種イベントでホッキご飯を提供してこられています。職員はみな請戸の海や漁港を思い出しながらおいしくいただきました。

最後に、隊長の鎌田友子さんは「地元の浜料理で地域の絆を守りたい」と力強くおっしゃっていました。



1月29日、合資会社旭屋（代表：鈴木昭孝様、本社：浪江町、郡山市で再開中）様から、町に寄附金をいただきました。

これは、同社の販売する「なみえ焼そば」の売上の一部を、町の復興に役立ててほしいと寄附いただいたものです。今後も売上に応じて定期的に町に寄附をいただくことになりました。

あだたら高原スキー教室

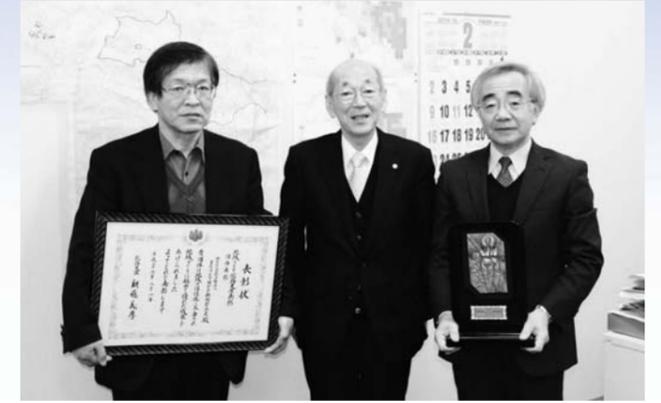


2月10日、熊本県山都町消防団OB会の皆さんが役場二本松事務所を訪れ、浪江町消防団へ義援金を手渡されました。テレビで浪江町消防団員のインタビューを聞き、ご寄附を決めてくださったそうです。通潤橋で有名な山都町は、熊本県と大分県の県境にある山間の町で、消防団は土石流などの自然災害にも備えているとのこと。浪江町を襲った複合的な災害について状況説明を聞き、「大変な状況ですが引き続きがんばってください」と支援の言葉をいただきました。

平成25年地域づくり総務大臣表彰 団体表彰」を受賞

2月1日、特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ（理事長：神長倉豊隆様）が「平成25年地域づくり総務大臣表彰 団体表彰」を受賞しました。

避難生活を送る町民を元気づけ、分散した地域をまとめ、町民の絆を保つ先進的な活動を続けていることや、町外支援者のプラットフォーム機能を果たし、困難な中でも一步一步地道に人びとをつなぐ、地域づくりの良い事例である点が評価されました。



浪江神社で火防祈禱

2月7日、浪江神社（浪江町大字権現堂地内）にて、町の無火災を祈念し火防祈禱の神事が執り行われました。祈禱には、浪江町消防団第1分団第1部松崎保成部長ほか団員14名が参加しました。



皆さまの身の回りにある楽しい話題、いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

大堀相馬焼をモチーフにした復興支援

大堀相馬焼の窯元である松永窯のご子息でガッチ(株)を経営する松永武士さんが、KACHI-UMAプロジェクトの作品を町長へ寄贈しました。

このプロジェクトは、有名クリエイターがデザインした馬の絵をあしらった二重湯呑を販売し、その収益の9.19%を大堀相馬焼関連事業に寄付をするものです。

松永さんは、「伝統の火を絶やさぬよう、また風化させないための発信、なにより浪江町の皆さんが元気になるような取組みをしていきたい」と述べ、引き続き浪江町を支援していくとお話いただきました。



ここからは広告です。

大堀相馬焼 2014 年午年ブランド
「KACHI-UMA」
—— 伝統と革新の100年へ ——

大堀相馬焼の馬は右に出るものがない縁起物。
東京三越伊勢丹、フランス・パリでも大好評の
「KACHI-UMA」で良い2014年を！

お求めはウェブサイトにて
<http://www.kachi-uma.jp/>
Yahoo 復興デパートメント
<http://store.shopping.yahoo.co.jp/frontier-ms/c1eac7cfc2.html>